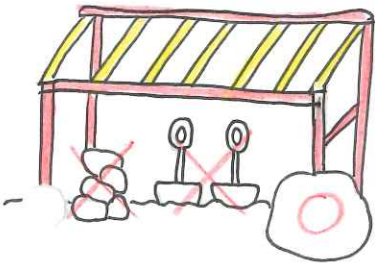


# ドキュメンタリー - 成功までの道

半分雪に埋まった「うんてい」の上に登りたい😊君。高くは登れません。近くで見守る保育士にも助けを求めず、どうしたら登れるのか考え、挑戦していました。



考えたのは足場を使うこと。周りを見渡し、発見したのは雪の塊。いくつも積み上げて尿を乗せてみましたか崩れてしまいX。「だめだ」。

次は持っていたスコップを雪に刺し、踏み台にしましたか不安定でX。

次は大きな雪玉を見つけ、転がして来て一言、「固いから大丈夫だ。よい乗ってみよう。玉に登り、うんていにも足がかかりついに成功！登れました！

やりとげに感一杯な表情をうんていの上で見せてくれました。感動したよ、先生は、良くやったね。

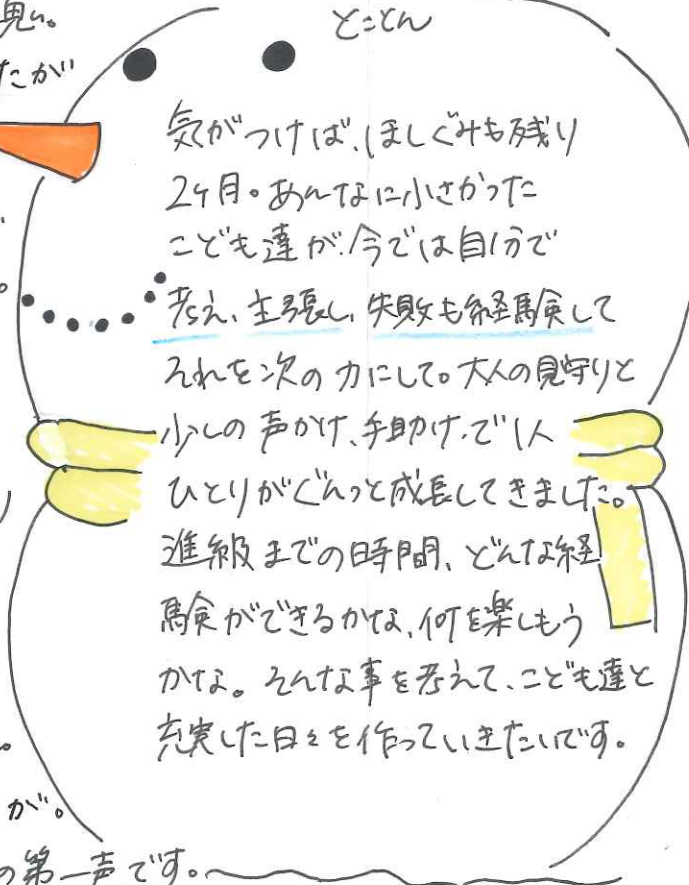
実はここでもう1つのウラストーリー?!か。自分で早く登った😊君。その時の第一声です。

「やっぱりチンコ痛いわ、ここ」  
棒が ↑ に当たっていました (完)

## 発言の自由 ~ 素直で純粋な子どもたち ~

- 午睡の時間、落ち着かない😊ちゃんに「どうした?」と近付くと、即!「先生あちいって!!!」と拒否されました。11、今はひとりでいたいんだね...
- ワックスで髪を整えていた保育士。ツヤツヤな髪を見て、「お風呂入ってる?」と尋ねる😊ちゃんでした。決して不潔じゃありませんよー。

1がつ  
ほし  
だまり  
R4.1.31  
ほろむい認定こども園  
とことん



気がつけば、ほしぐみも残り2ヶ月。あんたに小さかったこども達が今では自分で考え、主張し、失敗も経馬にしてそれを次の力にして。大人の見守りと少しの声かけ、手助けで1人ひとりがぐんと成長してきました。進級までの時間、どんな経馬食ができるかな、何を楽しもうかな。そんな事を考えて、こども達と充実した日々を作っていました。



『せんせいやって〜』から『どうしたらいいの?』『できた!』へ。

何事も自分で挑戦する力がつきまじ。「どうしたらいいの?」は、とつても悩む、考えているという事。答えがわからなくても、やるのはもちろん自分です。そして「できた!」へ。「できた!」を共に喜び、言ひめる、楽しい時間です。

ハサミやセロテープの使用、折り紙等の製作、スノーウェア、手袋等の着脱、袋の口を結ぶ、タオルを畳む...。毎日たこさんの「できた!」が生まれています。



「せんせい〇〇していい?」「〇〇はだめなの?」と確認する声か、少なくなると「〇〇作りたから△△ちょうだい!」「〇〇して来る!」「今すぐやりたいの!」とまずは自分の意志をストリーに伝えてくれるようになります。主体性の高まりです。でももちろん、100%それを受け入れてあげられない事もあります。そんな時は、理由も添えて話をします。すると、「じゃあここまではやらせてね」「別の△△にするよ」と折り合いを見つけられる姿も増えました。こうやって、自分の気持ちを上手にコントロールしてはから、活動の切り替えへつはがっています。

